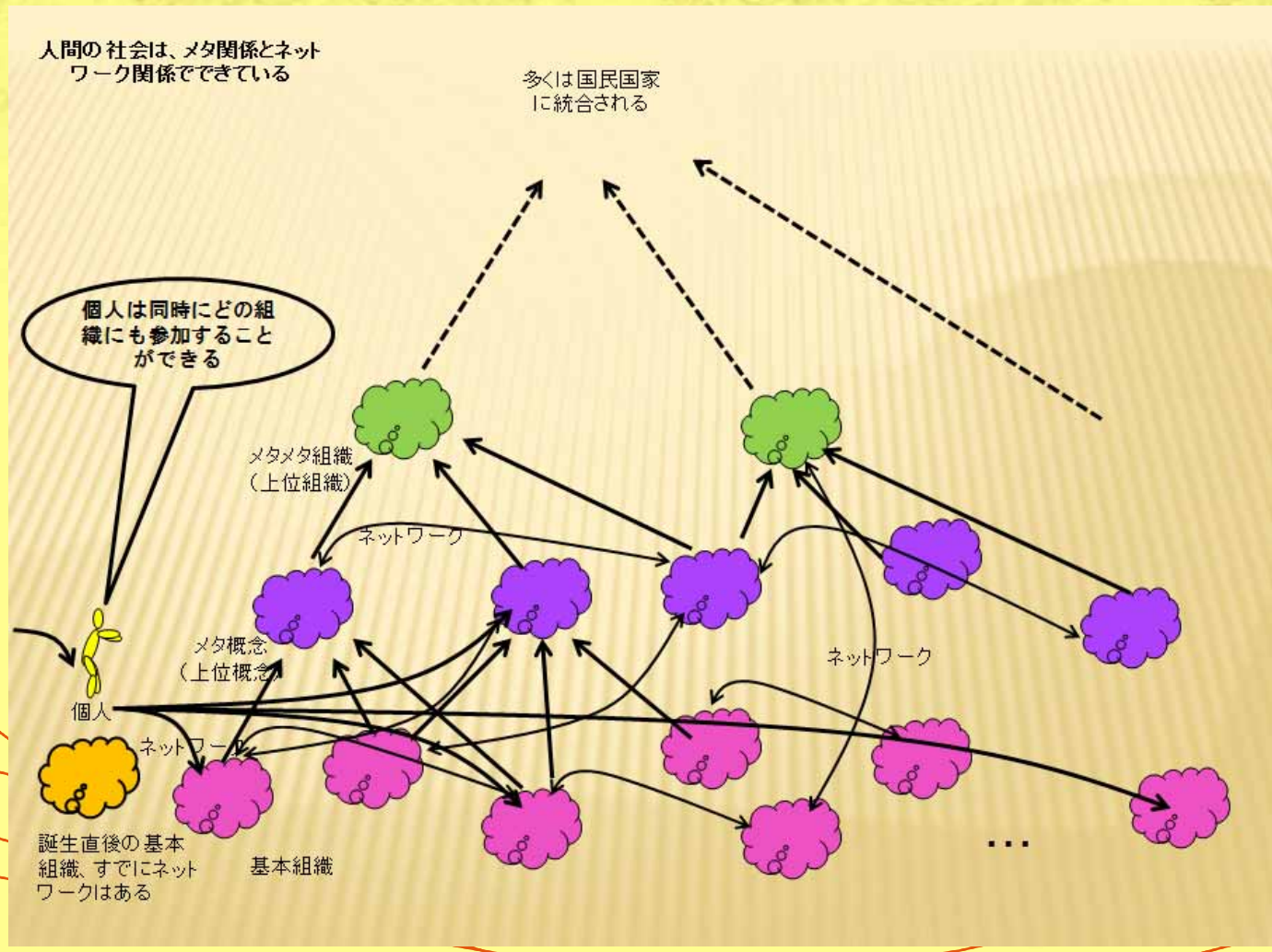


4-3(1).社会の飯箸モデル

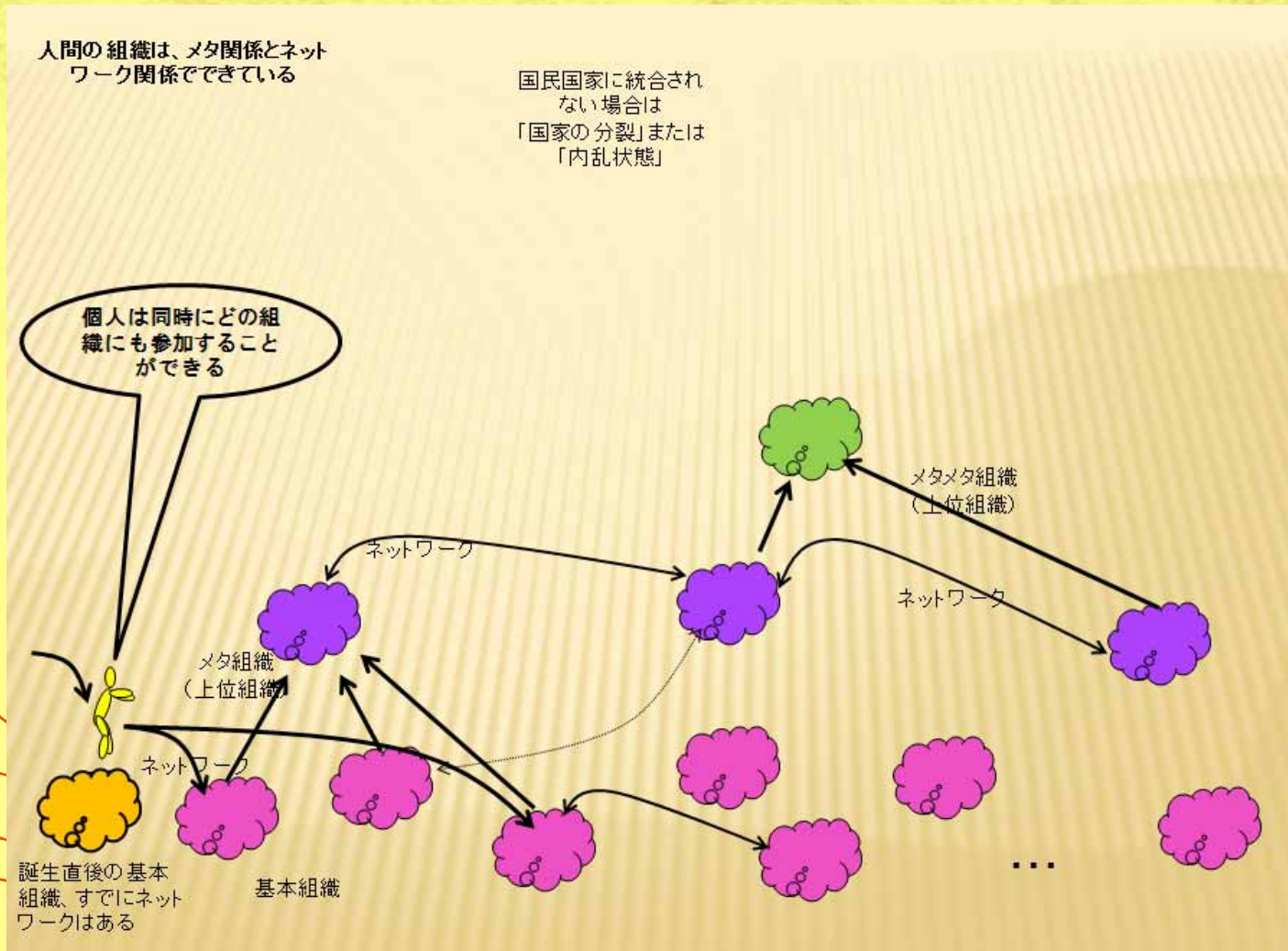
- (1)-1.社会とは何か?
→「社会的脳」とは何か? の前に、、、



社会の飯箸モデル

飯箸泰宏、矢ヶ部一之、
情報コミュニケーション
学会第3回全国大会発表
論文集、pp.89-90
(2006.)
飯箸泰宏、「独創性を
つくる試行錯誤」、情報コ
ミュニケーション学会第
4回研究会 (2008.11.08)

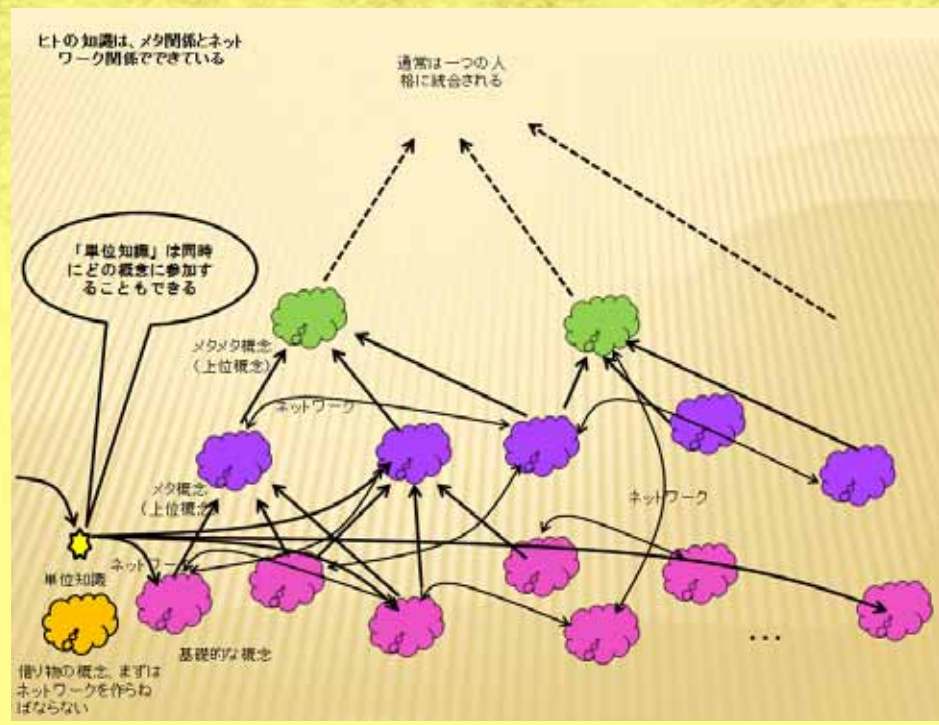
• (1)-2. 国民国家に統合されない場合



国家の分裂 (統合失調)

飯箸泰宏、「独創性をつくる試行錯誤」、情報コミュニケーション学会第4回研究会 (2008.11.08)

5-5(1).ヒトの知識(記憶)の縦軸と横軸



ヒトの知識の飯箸モデル[*]

[*]飯箸泰宏, 情報コミュニケーション学会, 第2回ワークショップ, 2008.09. 12より改変して引用

飯箸泰宏, 「独創性をつくる試行錯誤」、情報コミュニケーション学会第4回研究会 (2008.11.08) より改変して引用

ヒトの知識(記憶)には、いわば縦軸といわば横軸がある。

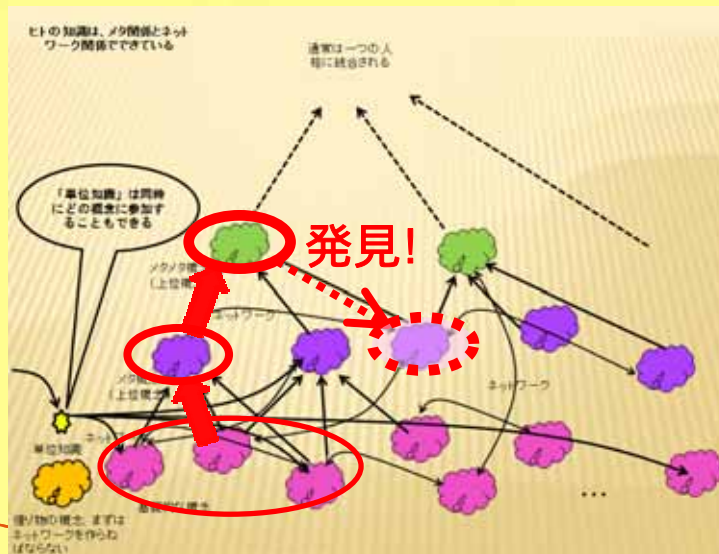
- ・いわば縦軸: (メタ関係=構造化記憶、直線の矢印)
一つの人格に向かう上下関係 (抽象化-具象化)
- ・いわば横軸: (ネットワーク関係=情報化記憶、曲線の矢印)
上下を問わず、どこでも結びつくリンク (類似、類例、対比、比喩、抽象と具象、所属、...)

5-5(2).検索保守の効率

a. しらみつぶしに調べるには、横軸に沿うほうが効率がよい。

しかし、

b. 膨大な知識の中から予想外の関連ヒントを得るには、縦型に沿って上下したほうが効率的である。



- ・ 上向きに辿ること=抽象化
- ・ 下向きに辿ること=具象化